

一般の多くの人々にとって、透析といえば血液透析のイメージだろう。そのなかで、しばしばマスコミ等で紹介される透析治療の内容は、明るいものとは真逆の印象のことが多い。つらい、大変、ひたすら苦渋に耐えるといったところだろうか。しかし、そもそも透析治療は末期腎不全の患者・人々に新たな命の可能性を与える画期的な治療であったはずだ。米国ワシントン州の「神の委員会」の逸話は少なくとも私世代の医師なら知っている方は多いだろう。患者たちに確かな希望を与えてきた透析医療だが、気が付けば輝きが失われている。先般、6月に神戸で日本透析医学会学術集会・総会があり、このなかで、ある看護系のシンポジウムでは高齢者などの end of life の状況にあ

る末期腎不全患者の保存的腎臓療法（CKM）や療法選択を巡って熱心な発表や討論がされていたが、それを聴講していたある先生（医師）が、「CKMを巡る医師のセッションでは沈痛で暗い気持ちになったが、この（看護の）セッションでは温かい安心できる気持ちになれた。この違いは何なんだろうね」という印象を述べていた。なるほどと思った。腎臓病が進行して、腎臓がだめになっても、透析があるよ、周りが支えてくれるよと思ってもらえるようなものを構築できるか。これこそが透析関係の医療者に、今、求められているものではないか。腹膜透析（PD）はそのための一つの手段である。本誌を通してPD療法のもつ本当の意義を考えていただければ幸いです。（中山昌明）

 2023 年 (Vol. 39) 特集のご案内

- | | |
|--|---------------------------|
| No.① 糖尿病透析患者の全身管理を極める
—専門医との連携を目指して | No.⑥ 保存的腎臓療法（CKM） |
| No.② 血液透析導入の処方 | No.⑦ 透析施設における感染症対策〔増刊号〕 |
| No.③ 透析スタッフのメンタルヘルス | No.⑧ 腹膜透析の展開—生き残りをかけた在宅医療 |
| No.④ もっと知ろう 透析患者の栄養と身体
評価 | No. 9 在宅・長時間透析 2023 |
| No.⑤ オンライン HDF の基礎から応用 | (既刊は○) |
-

臨床透析® Vol.39 No.8

© 2023 年 7 月 10 日発行
 定価：2,860 円
 (本体 2,600 円 + 税 10%)

- ・ 2023 年 年間購読料 (増刊号含む 13 冊, 税込)
 冊子版 39,050 円
 電子版 (個人のみ) 39,050 円
 冊子版 + 電子版 (個人のみ) 44,550 円
 (詳しくはホームページをご覧ください)
- ・ 年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也
 発行所 株式会社 日本メディカルセンター
 〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル
 営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904
 編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377
 e-mail dialysis@nmckk.co.jp
 URL <https://www.nmckk.jp>
 郵便振替 00110-2-80695
 印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2023, Printed in Japan
 ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は (株) 日本メディカルセンターが保有します。
 ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
 本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541